



第14 66号

2015年3月31日

震災時などにおける、お客さまの安全と安心のために 「小田急沿線 震災時一時避難・帰宅支援マップ」を発行

2015年4月1日(水)から、小田急線各駅で無料配布します

小田急電鉄株式会社(本社:東京都新宿区 社長:山木 利満)では、「小田急沿線 震災時一時避難・帰宅支援マップ」を、2015年4月1日(水)から小田急線各駅で無料配布します。

当社では、「小田急電鉄は、日本一安全な鉄道をめざします。」を基本理念に掲げ、安全性の向上のための設備維持・改善および安全管理体制の整備に努めています。

当社では、2011年に発生した「東日本大震災」を教訓とし、緊急時における「お客さまへの情報提供」も鉄道事業者としての重要な役割であると考え、今般、「小田急沿線 震災時一時避難・帰宅支援マップ」発行に至りました。

大規模地震が発生した際など、お客さまに落ち着いて行動していただくことを目的に配布します

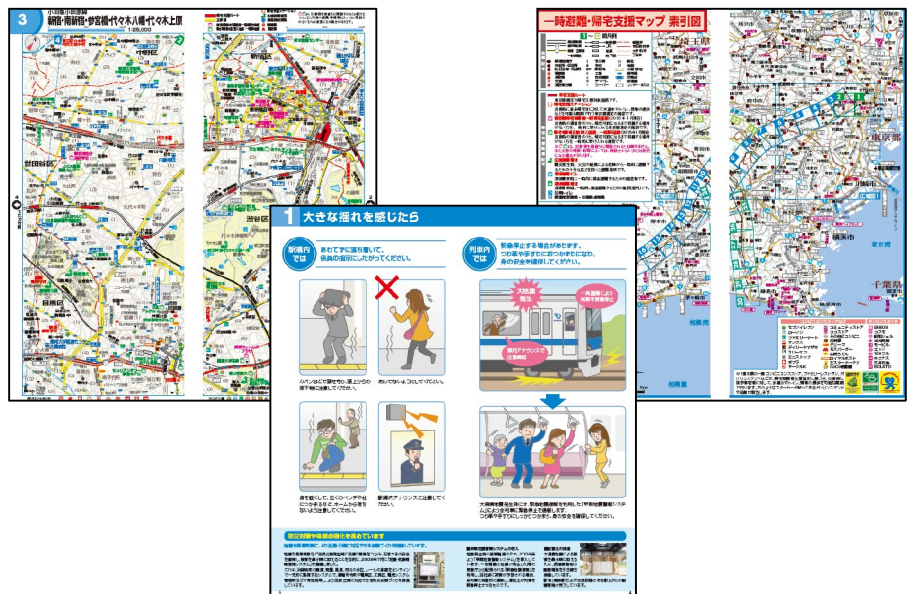
駅構内や列車内で大規模地震が発生した場合、お客さまに「とっていただきたい行動」、「ご協力いただきたい内容」などをイラスト付きで分かりやすく解説しています。

当社沿線、東京メトロ千代田線(代々木上原~大手町間)、箱根登山線(小田原~箱根湯本間)を33エリアに分けし、帰宅支援ルート、一時滞在施設、公衆トイレなどの「防災情報」を、地図上に記号で表記し分かりやすくご案内しています。

大規模地震発生時の行動について理解を深めていただくとともに、お出かけの際にはぜひお持ち歩きください。



表紙(イメージ)



小田急沿線 震災時一時避難・帰宅支援マップの内容(イメージ)

「小田急沿線 震災時一時避難・帰宅支援マップ」の概要は、下記のとおりです。

記

1. 名称 「小田急沿線 震災時一時避難・帰宅支援マップ」
 2. 配付開始日 2015年4月1日(水)
 3. 配付場所 小田急線各駅(駅窓口など)
 4. 配布部数 15万部(カラー、全84ページ)
 5. 発行 小田急電鉄株式会社
 6. 地図作製 株式会社昭文社
 7. 掲載内容
 - 【大規模地震が発生した際のお客さまへのお願い】
 - (1) 駅構内、電車内において、状況ごとに行動していただきたい内容をイラストを用いて解説
 - 大きな揺れを感じた場合
 - 地震発生直後の揺れがおさまった場合
 - 地震発生直後から時間が経過し、揺れがおさまり状況が落ち着いた場合
 - (2) 当社の安全に対する取り組み
 - 防災対策や体制の強化、地震に対する備え、お客さまへのより正確かつ分かりやすい情報提供などを紹介
 - 当社の安全に関する取り組みは、当社ホームページの「安全報告書」で詳しく紹介しています。(http://www.odakyu.jp/csr/safety_report/)
 - (3) 災害用伝言ダイヤルを利用した安否確認方法、沿線自治体などから発信される情報提供内容を確認可能なサイト(URL)の紹介
 - 【小田急沿線 震災時一時避難・帰宅支援マップ】
 - (1) 小田急全線、東京メトロ千代田線(代々木上原~大手町間)、箱根登山線(小田原~箱根湯本間)を33エリアに区分けした地図
 - 縮尺は、1/25,000
 - (2) 上記の33エリアに区分けした地図上に、帰宅支援ルート、帰宅支援ステーション、一時滞在施設、広域避難場所、津波避難場所等の紹介
8. 問い合わせ先 <小田急お客さまセンター>
 - 電話：03-3481-0066(9:00~19:00)

以上